

## 住職の写真日記より【令和6年11月】

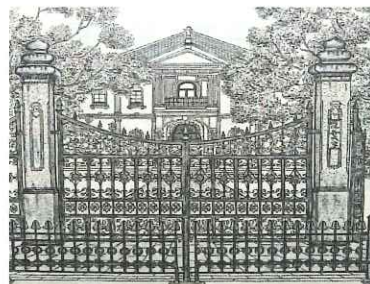
今年も大勢の方々のご協力、ご奉仕により報恩講を勤める事が出来ました。おときも以前のように広間で接待でき、皆さん喜んでいました。雪がちらつく天気でしたが、たくさんのお参りをいただき、誠にありがとうございました。今年も残り少なくなりましたね。



**1日 維新オンリー**とは衆議院選挙で大阪はオール維新。なぜ、こんなに大阪で人気があるのか、他の選挙区ではない結果ですね。



**5日 ご奉仕に感謝です**着付けサークルの方々は、今年も報恩講喫茶コーナーのお菓子を作り。3日間フルでやっていただきました。



**17日 素晴らしい鉛筆画**わが母校・龍谷大学正門の絵をネットで見つけました。あまりの細かさにびっくりです。後で色を塗ろうかな



**3日 報恩講準備**でした高校時代の野球部監督の退任パーティで純正が帰省。報恩講にはお参りできませんでしたが、準備の手伝い。



**6日 報恩講万灯会**にてやはり報恩講は中日の夜の法要が一番の参詣で70名のお参りがありました。花あかりをみんなでお供えしました。



**18日 新庄のグローブ**現役時代、同じグローブを使い続け絶対に人には触らせなかったという。グローブは父親の棺に入れたそう



**4日 純正、祖母の面会**に京都へ戻る前に施設へ。純正の事は分かりませんでしたが、とても喜んでいました。元気そうで何より。



**15日 オーロラの画像**お寺にホームステイしていたエンミさんから送ってきました。自宅から見えるなんて素敵ですね。



**21日 北の富士、死去**子供の頃からこの力士が好きで応援してました。辛口ながらも名解説で男前でしたね。82歳。残念です。

## 坊守の独り言

**報恩講、皆さんの温かなお力添えで今年も千正寺らしい報恩講がお勤めできました事、感謝申し上げます。**

何か月も前から準備を始め、当日は男性陣が受付を担当し、婦人会のおとき接待、ボーイスカウトやサークルママたちによる喫茶コーナー、お参りされる方々と「報恩講」を過ごさせてもらいました。でも今年は、10月中旬から介護施設に入居した前坊守がお参りすることが出来ませんでした。「報恩講は連れてこよう」と予定を組んでいましたが、新しい生活に慣れるために外出が逆効果になると思い、連れてくるのを諦めました。我が家は「老いる」と真ん中の日常。世間で言う「嫁・姑問題」我が家も普通にありました。いろんな感情を「嫁・姑」で共有しながら時の流れが「いい塩梅」にしてくれているとご法話を聴聞しながら老いていく前坊守を想う今年の報恩講でした。